

令和8年度「調布市防災教育の日」の実施結果（概要）について

1 実施日・場所 令和8年4月25日（土）

市立全小・中学校28校、大町スポーツ施設（市統一テーマ訓練のみ）

2 事業概要等

(1) 令和8年度の特徴

東日本大震災から15年の節目であることを踏まえ、あらためて大震災の教訓の風化防止、備えに対する意識の向上につなげられる取組を行う（関係機関との連携強化、体験活動の充実、避難所体験の対象拡大など）。

(2) 事業概要

時間	(1) 学校教育活動(小学校例)	(2) 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」	場所
8:45	1校時 防災啓発講話 (保護者・地域へ公開)		
9:15			
9:30			
9:45	2校時「命」の授業 (保護者・地域へ公開)	9:45 市職員・地域の方集合 ・一日の流れの確認 避難所開設訓練 ・避難スペース設置、避難所受付準備 ・避難所体験の準備 等	校舎 外回り ・ 体育館
10:30			
10:45	3校時 安全指導	避難所体験 ・避難所受付、備蓄品、避難スペースなどの 確認・体験	
11:00	11:00 発災 避難訓練・引取訓練 ・校庭への避難 ・講評(校長・副校長)		
11:20	下校 避難所体験	意見交換(訓練振り返り、課題抽出等) 片付け・終了報告	
		訓練終了	
13:15			

(3) 学校教育活動

ア 「命」の授業・防災啓発講話

保護者・地域の方に向けて授業公開を実施し、児童生徒に命の尊さや「自らの命は自らが守る」意識を高める「命」の授業を実施しました。また、調布消防署・調布警察署の職員による参加・体験型授業のほか、今年度から新たに東京水道株式会社による「給水袋組立体験、応急給水体験」等を実施しました。

イ 避難訓練・引取訓練

全学年一斉に避難訓練を実施し、校庭への避難を行うとともに、各学校から保護者宛に「すぐる（調布市学校安全・安心情報配信システム）」を用いて引渡し時刻等を周知のうえ、保護者等による引取訓練を実施しました。

(4) 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」

訓練テーマを「避難所開設訓練」と題し、避難所開設時に各学校避難所に参集する市職員及び地区協議会等の地域の方との協働により、2つの実施目的である「地域との協働による訓練の継続的な実施」、「マンホールトイレなど、避難所に配備されている資機材の操作方法の習熟」を踏まえた訓練を実施しました。

【訓練内容】校門・校舎・体育館の開錠・施錠方法の確認、建物利用調査、図上訓練、防災備蓄倉庫確認、マンホールトイレ設置、避難所体験（小学校全児童・中学校全生徒及びその保護者対象）、アクションカードを活用した避難所開設、二次元コードによる受付 等

【訓練参加者数】 8 6 4 人（市職員 420 人・教員 114 人・地域住民 330 人）

【避難所体験参加者数】 3 8 4 5 人（児童生徒 2090 人、保護者 1586 人、他 169 人）

3 当日の様子

(1) 学校教育活動（「命」の授業・防災啓発講話、避難訓練・引取訓練）



▲S V R 防災体験車による震災疑似体験
（深大寺小学校）



▲東京水道株式会社による「給水袋組立体験・
応急給水体験」（第六中学校）



▲釜石市の実家が津波被害に遭った教育委員会
会計年度任用職員の講話（第八中学校）



▲校庭への避難訓練（飛田給小学校）

(2) 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」



▲避難所開設訓練（マンホールトイレ設置）
（富士見台小学校）



▲避難所体験（避難スペース体験）
（第三小学校）